

ウランウデ



<http://ulan-ude.igid.ru/dostoprimechatelnosti>

私の町ーウランウデ

フェドセーエフ・アナスタシア

ウランウデは、ブリヤート共和国の首都で、東シベリアの都市である。ウダ川とセレンガ川のほとりに位置している。1666年に設立された。ウランウデの面積は約36万平方キロメートルで、人口は約50万人である。

ロシアの地図によると、ウランウデは極東連邦管区にある。モスクワから約5500km離れており、飛行機で5時間ほどかかる。ウランウデの東側はチタという都市に面しており、西側はイルクーツクに接している。

ウランウデの気候は大陸性気候である。そのため、夏は非常に暑く、冬は非常に寒い。1月の平均気温はマイナス20～30度で、7月の平均気温は15～20度だ。乾燥した空気のおかげで、冬の気温が非常に低くても、耐えられる。さらに、夏の昼間は暑いですが、朝と夕方は涼しい。山形市の夏と比べると、ウランウデの夏は耐えやすい。

<https://xn----etbdra6aacodma.xn--p1ai/ulan-ude>



<https://caminantedelsur.com/2017/05/05/baikal-el-lago-de-agua-dulce-mas-grande-del-mundo/>

ウランウデの有名な日本人

岩田守弘はブリヤート共和国の有名な日本のバレエダンサーである。ロシアのバレエに興味がある人はきっと岩田守弘を知っているだろう。

岩田守弘は横浜市に生まれた。岩田守弘の父親はバレエスクールの教師として勤めていたので、岩田守弘は父親のようにバレエダンサーになりたかった。彼は父親に振り付けを教えてもらった。バレエダンスが上手になったから、多くの大会で優勝した。その後で、モスクワ州立アカデミーで勉強するために、ロシアへ行った。1991年にヴィヤチェスラフ・ゴルデエフの指揮する「ロシアのバレエ」という劇団のソリストになった。数年で岩田守弘はボリショイ劇場の劇団に参加した。ボリショイ劇場はロシアで一番有名な劇場である。ほとんどすべてのロシアのアーティストがそこに行きたいと思っている。ボリショイ劇場で岩田守弘は17年間多くのバレエ公演に参加し、創造的なイベントに活躍した。ボリショイ劇場のソリスト、岩田守弘は2020年9月にウランウデの国立ブリヤートオペラ・バレエ劇場にバレエ団の芸術監督として招待された。

現在、岩田守弘のおかげで、ウランウデで岩田守弘バレエスクールが開校された。その他に、岩田守弘の協力のおかげで、ロシアにおける日本の年に様々なイベントが行われた。例えば、ブリヤートで行われた刀の鍛造のイベントや、「信長」という公演などだ。さらに、岩田守弘によって日露ユーラシア国際バレエコンクールが行われた。

岩田守弘はロシアのバレエのために多くのことをした。岩田守弘はすごい人だと思う。



<https://blogrb.ru/news/221062>

ウランウデの歴史

シベリアの開発後、多くのシベリアの都市の建設が始まった。ウランウデはこれらの都市の中であった。

1666年、ウダ川河口の高地でロシアのガブリラ・ロフツォフのコサックの支隊は地元住民からの税金を集めるための小屋を建て、「ウダ川のコサックの冬の小屋」と呼ばれた。この場所は都合がいい自然条件と便利な戦略的立地があるから、ガブリラ・ロフツォフに選ばれた。「ウダ川のコサックの冬の小屋」からウダ川の周りとセレンガ原を取り締まることが非常に便利だったので、モスクワ政府はこの場所に要塞を建設することを決定し、1680年に小屋は要塞の町に変わった。町はウディンスクという名前をつけられた。

1689年、建設が完了し、要塞の町はトランスバイカリアの行政と軍事の中心地となった。1690年にウディンスクは都市の地位を撮った。中国とモンゴルに向かう途中の位置のおかげで、ウディンスクは東方の商売に重要なところになった。

ウディンスクの人民は商売や工芸や物資の輸送や狩猟や釣りをした。

ピョートル1世の改革の前に、他の多くの都市のように、ウディンスクは無計画に無作為に建設された。通りは狭く、曲がりくねっていた。一般に家はウダ海岸の近くに建てられた。通りの幅が狭かったので、度々火事になるところがあった。ウダ海岸の近くで家は大水で倒れた。多くの悪い事件があったから、ウディンスク政府は計画的な建物を建てることを決めた。

1735年にウディンスクはヴェルフノイディンスクという名前に変えられた。トランスバイカリアの発展とブリヤート人とロシア人の間の平和的、商業的な関係のおかげで、税金を集めるセンターの地位と軍事的重要性を失った。したがって、商業と行政と輸送の機能が強調された。

1934年7月27日にヴェルフノイディンスクはウランウデという名前に変えられた。ウランウデはブリヤート語で「赤いウダ」という意味である。



<http://www.vseflagi.ru/buryatiya/>